

整地・運搬・積込み用機械を起因物とする墜落・転落の死亡災害発生事例（1999-2020年）

発生年	発生月	発生時間	死傷災害発生事例	小業種コード	労働者規模
1999	1	11～12	築堤の天端上の除雪をブル・ドーザーを用いて行っていて、路肩から6.4m下にブル・ドーザーとともに転落し、ブル・ドーザーのヘッドガードと地面との間に挟まれてた。	30199	100～299
1999	2	14～15	河川改修工事において、鋼製矢板8枚をドラグ・ショベルで吊り上げたときに、堤防道路から約1.5m下の田んぼに転落し、ドラグ・ショベルの下敷きになった。	30107	10～29
1999	3	8～9	河川の復旧工事現場で、タイヤショベルを使用して上方の田んぼの土手から再生骨材を河川床に入れる作業を行って、バケット内に骨材が残ったのでバケットを何度か振って落とそうとしていたときに誤って田んぼの土手からタイヤショベルとともに河川に転落した。	30107	10～29
1999	7	16～17	トラクターショベルで競走馬の寝わら等を焼却灰捨場に捨てに行き、捨場の斜面からトラクターショベルとともに転落し、その下敷きとなった。	70101	1～9
1999	6	9～10	斜度25度の牧草地の表土掘削作業をブルドーザーで行っているときに、ブルドーザーが横滑りして約13m滑落して、横転しブルドーザーの下敷になった。	30199	10～29
1999	8	16～17	国有林の間伐作業を終え、ブルドーザーで林道を走行していたところ、路肩から約20メートル下に機体ごと転落し、その下敷きとなった。	60201	10～29
		15	国道改良工事の法面掘削工事現場において、ドラグショベル(機体重量2.8t)		1～

1999	9	～ 16	の移動中に路肩が崩れて機体が約2m下に転落した。	30106	9
1999	10	～ 16	林道開設工事から出た残土を土捨場においてブルドーザーで斜面側に押し出しているときに、土捨場からブルドーザーとともに転落した。	30106	1～ 9
1999	11	9 ～ 10	傾斜角23度の傾斜地から玉切りした倒木をドラグショベルのバケットに取り付けたフックにワイヤーロープで繋いでバックで土場まで引き降ろしていたときに、左後方キャタピラーが根株に乗り上げて右方向に横転し、さらに回転したため運転者がキャビンから放り出された。	60201	1～ 9
2000	12	9 ～ 10	火山灰採取場で、ブルドーザー(機体重量5.52t)で火山灰の押出し作業中に傾斜約15°の斜面にブルドーザーを停止させ、運転席から降りてキャタピラの上を歩いていたときに、ブルドーザーが動き出したためバランスを崩してブルドーザーの排土板とキャタピラとの間に転落し、排土板で胸を強打した。	40301	10 ～ 29
2000	6	9 ～ 10	山を果樹畑(梅園)にするため、ドラグショベルで作業中に造成地の斜面下に転落し、キャビンに挟まれた。	30109	1～ 9
2000	1	～ 17	不整地運搬車(最大積載量850kg)に積んだ掘削土を農道上からダンピングしていたところ、運転を誤って勾配約35度の盛土斜面から転落し、3.8m下の田圃で下敷きになった。	30106	10 ～ 29
2001	1	～ 17	採石場において、ドラグ・ショベル(機体質量35t)岩盤上に堆積した土砂を土場に落とす作業を行っていたときに、谷側の地盤が崩れ、機体とともに約70m下まで墜落した。	20201	10 ～ 29
2001	1	～ 14	自動車道工事現場において、ブル・ドーザーの上部ローラーの交換を行い、ブル・ドーザーの運転席から降りるときに転落し後頭部を強打した。	30105	1～ 9
2001	6	～	ゴルフ場造成工事において、被災者は、地盤改良のためのボラ土を運搬するためにトラクターショベルでボラ土採取箇所まで勾配10度の作業道を前進で	30199	30 ～

		17	下っていたところ、路肩左側に寄りすぎて約5m下の道路に転落した。		49
2001	7	16 ～ 17	製砂場において、トラクターショベルを運転中、作業用通路から約15m下の土場に転落した。	20201	10 ～ 29
2001	8	15 ～ 16	残土集積現場でブルドーザ(機体質量約8t)を運転していて高さ約4mの崖から転落した。	30199	1～ 9
2001	9	9 ～ 10	林道開設工事において、ドラグ・ショベルで作業中に幅4.35mの林道の石積みの路肩が長さ7.6m、幅1.85mにわたって崩落し、ドラグ・ショベルとともに11.7m下の谷底に転落した。	30106	1～ 9
2001	9	10 ～ 11	砂利採取場において、池の中からドラグショベルで地上に盛土した砂をブルドーザにより約70m離れたダンプへの積込場へ運搬していたときに、水深約4mの池へ転落した。	20202	30 ～ 49
2001	9	16 ～ 17	砂利プラントにおいて、沈殿池からクラムシェルで引き揚げた泥をブルドーザで整地する作業に従事していた者が戻らないため、同僚が探しに行ったところ約100m離れた別の沈殿池に向かうキャタピラの跡があり、池の中で死亡していた。	20202	30 ～ 49
2001	9	15 ～ 16	林道開設工事において、ドラグショベルを移動させていたところ、路肩が崩壊し林道から10m下の斜面に転落し、ショベルの下敷きになった。	30106	1～ 9
2001	10	17 ～ 18	法面の保護工事において、法面から道路に落ちた残土、岩石等をトラクター・ショベルで集積、運搬しているときに、道路左側の法肩から約5m下にトラクター・ショベルごと転落し、下敷きになった。	30199	10 ～ 29
2001	12	14 ～ 15	乳業工場から農家の肥料堆積場へ通じる農道の除雪作業に使用するトラクターショベルをトレーラーから降して約300m先の肥料堆積場に向かって走行中、幅約4mの緩やかな右カーブで農道から逸脱して高さ1.7m下の畑(雪原)に転落して逆さまとなり、運転席のキャビンが押しつぶされた。	40301	10 ～ 29

2002	1	16 ～ 17	採石現場においてタイヤショベルでクラッシャーのホッパーに碎石を投入作 業中、通路を外れて高さ約7m、勾配約40度の斜面をショベルが後ろ向きに滑 り落ち、運転席から投げ出された。	20201	1～ 9
2002	2	22 ～ 23	採石場の切羽近くにおいて、ブル・ドーザーを運転して「ずり」を押してい たところ、14m下の段へブルごと転落し、さらにその勢いで60m下の崖下に 転落し「ずり」に埋まった。	20201	30 ～ 49
2002	4	8 ～ 9	採石場内において、近くの工事現場で発生した土を再利用するため仮置きす ることとなり、ダンプによる搬入に備えホイールローダー（17t）を使用し掻 き揚げを行っていたところ、高さ約5mの頂上付近でホイールローダーが転落 し運転室が圧潰した。	20201	1～ 9
2002	4	16 ～ 17	砂防ダム建設現場において、堤体建設予定場所の直近上部で作業していたド ラグショベルの履帯下の盛土が重量に耐え切れず崩壊し、傾斜約35～30度、 水平距離約20m、高さ約10mの谷底に機体の左側から転落して運転席が直径 1m程の岩に激突し潰れた。	30108	10 ～ 29
2002	10	13 ～ 14	トラクターショベル（機体質量2560kg）でゴルフコースのグリーンに目土 を入れているときに、斜面（傾斜が15度から30度）でトラクターショベルが 横転し下敷きになった。	170209	1～ 9
2003	2	14 ～ 15	伐倒木を斜面から作業道へ引っ張り上げるため、伐倒木6本にワイヤをかけて ブル・ドーザーのウインチで引っ張り上げる準備中、土場に傾斜（約8度）が あり、また、ブル・ドーザーのブレーキ及びギヤがかかっていなかったこ とからブル・ドーザーが作業道を逸走し、クローラ上でウインチの操作をし ようとしていた作業者がクローラから墜落した。	60201	1～ 9
2003	3	10 ～ 11	倉庫内で、トラクター・ショベルでごみ固形燃料発電用の円筒形チップを積 み上げていたところ、高さ約5mのチップの上からトラクター・ショベルが横 転し、下敷きとなった。	170209	1～ 9
2003	5	14 ～ 15	工場の増改築工事において、トラクター・ショベルを運転して工場のひさし に廃材であるプラスチックタイルを集積する作業を行っていたときに、トラ クター・ショベルとともに約4m下の地上に転落した。	30201	10 ～ 29

2003	10	8 ～ 9	山間の採石場で、泥取り作業を行っていたトラクター・ショベルが見えなくなったので探したところ、作業場端の高さ約19mの崖下に転落しているのが発見された。	20201	1～ 9
2003	10	0 ～ 1	原石の採取場で、採取した原石をダンプに積み込む作業の前にタイヤショベルを最初に停めてあった場所まで戻そうと後進で移動させていたときに、道路端から川へ車両ごと転落し溺死した。	40301	1～ 9
2003	10	10 ～ 11	山地内の整地作業において、ブル・ドーザーを運転中に隣接する農道（幅4m）を越えて4m下の川に転落し下敷きとなった。	30109	1～ 9
2003	10	17 ～ 18	遊歩道等の建設工事において、ドラグ・ショベルで幅約1.5mの管理道路上にある伐根の除去作業中に機械の後部が路肩から落ちそうになったので、運転を代って約32度の斜面を約1m下ったときに、機械が斜め左前方に傾いて転倒し倒れてきた機械の下敷きになった。	30201	30 ～ 49
2003	10	11 ～ 12	飼料の入った袋（重さ約450kg）の運搬をトラクター・ショベルで行うため、バケットのフックに袋を掛けようとショベルの運転席からアームの上を歩行していて墜落した。	11709	1～ 9
2003	11	18 ～ 19	鶏舎暖房用ボイラーに燃料となる鶏糞をトラクター・ショベルで投入して敷地内の砂利道を走行中、高さ約5mの法面（のりめん）を転落した。	70101	1～ 9
2004	1	16 ～ 17	ブル・ドーザーを運転してゴミの集積・締固め等の作業を行っていた際に、堆積したゴミの山からブル・ドーザーごと転落した。	150103	10 ～ 29
2004	7	9 ～ 10	ブル・ドーザー（機体重量15.58t）を運転し、水面から高さ約3m、勾配20～28度の法面（のりめん）を整形しようと上部から法面に沿って降りていたところ、そのままブル・ドーザーごとダム貯水池（水深約3m）に転落した。	30107	50 ～ 99
2004	1	9 ～	ドラグ・ショベルを用いて、作業道に積もった雪をドラグ・ショベルのクローラで踏み固める作業中、下り勾配（22度）の雪でスリップ、作業道路肩	30199	10 ～

		10	から沢に転落し、被災者がドラグ・ショベルの下敷きになった。		29
2004	2	16 ～ 17	砂利採取場において、表層土等を掘削採取した個所をトラクター・ショベルにより砂利で埋め戻し作業中、砂利掘削個所に転落した。	10901	50 ～ 99
2004	8	14 ～ 15	トラクター・ショベルのマフラー交換作業中、トラクター・ショベル上、高さ2.4mのところから墜落した。	20202	1～ 9
2004	4	8 ～ 9	造成工事においてブルドーザーで山砂をならそうとしてエンジンをかけたところ後進し、法面（のりめん）（高さ85cm・傾斜51度）からブル・ドーザーごと転落した際放り出されて地面に激突したところへブルドーザーがまたぐ形で通過し、そのまま排土板に引きずられた。その後、同機が田んぼに差し掛かり上下に揚動した排土板に激突された。	30109	1～ 9
2004	1	0 ～ 1	下水道管敷設工事現場から資材置場に搬入される土砂を台地状に盛り上げる作業終了後に盛土から下ろそうとした重機が転倒し、投げ出された被災者が地面と重機の天蓋との間に挟まれた。	30110	1～ 9
2004	1	14 ～ 15	構内の造船ドック内において、トラクター・ショベルを使用してポンツーン（浮き棧橋）製作中に出たコンクリートガラの除去作業（トラックへの積込作業）および当該ドック内のヘドロの除去作業において、トラックにガラを積載後、トラクター・ショベルでバックしたところ、ヘドロの溜まっているピット（縦8m、横6m、深さ約2.2m）に転落した。	30199	10 ～ 29
2004	6	11 ～ 12	村道の法面（のりめん）修繕工事現場において、ドラグ・ショベルを運転して法面の掘削作業を行っていたところ、当該ドラグ・ショベルがバランスを崩し約5m下の谷川へ転落した。	30106	10 ～ 29
2004	8	8 ～ 9	河川改修工事現場において、ドラグ・ショベルを使用し土嚢2個をつり上げ右旋回中に岸から河床へ約3mの高さを当該ショベルが転落し、それにより被災者は運転席から投げ出された結果、ショベルのクローラ部の下敷きとなった。	30107	30 ～ 49

2005	12	11 ～ 12	河川災害復旧工事において、大型土のう撤去のため、ドラグ・ショベルを操 作して、土のうをつつて旋回したところ、バランスを崩してドラグ・ショベ ルごと河川へ転落した。	30107	1～ 9
2005	5	16 ～ 17	護岸工事において、作業用道路を整備するためブル・ドーザーにより中州周 辺で整地作業を行っていたところ、後退の操作を行った際に川の深みにはま り、転落した。	30107	1～ 9
2005	11	19 ～ 20	山林内でショベルカーを運転し、遊歩道を整備しているとき、ショベルカー が法面を8m転落し、ショベルカーの下敷きとなった。	140101	50 ～ 99
2005	10	17 ～ 18	コンクリート製品製造工場において、作業終了後、コンクリートミキサーを 洗浄し、出た水やガラをトラクター・ショベルでガラ捨て場に捨てようと した際に、トラクター・ショベルごと水深1.8mのため池に転落した。	10901	1～ 9
2005	12	6 ～ 7	道路除排雪作業を、ブル・ドーザーを使用して行っていたところ、後退時に 誤って市道の側溝に車体の左側全体を落とし、その際、側溝に転落した。	30199	1～ 9
2005	2	9 ～ 10	土取り場構内においてトラクター・ショベルを運転し、土取り場道路補修等 の作業中、道路路肩からトラクター・ショベルとともに5.6m下に転落し、ト ラクター・ショベルの下敷きとなった。	10909	10 ～ 29
2005	6	13 ～ 14	砂防工事において、法面を下降中に、建設用機械とともに転落し、機体と破 損したヘッドガードとの間に挟まれた。	30106	1～ 9
2005	3	14 ～ 15	トラクター・ショベルで舗装されていない道路を整備中、路肩から5m下の杉 林に転落し、トラクター・ショベルの下敷きとなった。	150102	30 ～ 49
2005	6	9 ～ 10	建築工事現場において、ブル・ドーザーで整地作業を行っていたところ、ブ ル・ドーザーが後方にあった高さ35cmのコンクリート擁壁を乗り越えて1.5m 下の歩道に転落し、被災者が運転席より投げ出されたところを転落してきた	30209	10 ～ 29

			ブル・ドーザーにひかれた。		
2006	1	7 ～ 8	被災者は除雪助手としてモーターグレーダーで深夜の市道除雪作業を終え、車両基地に戻った。グレーダーから降りる際1.4m下の圧雪路面に転落した。帰宅したが痛みがひどいため整形外科を受診し自宅に戻り休んでいたところ、夜になって不調を訴え救急搬送。手術を受け治療を継続したが死亡した。	30199	10 ～ 29
2006	2	16 ～ 17	林道開設工事に従事していた被災者が、法面に吹き付けられたモルタルのかすをトラクターショベルで集める作業中、反対側の谷にトラクターショベルごと転落した。	30106	1～ 9
2006	9	10 ～ 11	被災者は、単独で整地用車両系建設機械を運転し、盛土の整地作業に従事していたところ、高さ2メートルの土の法肩が崩れて、被災者は運転していた整地用車両系建設機械と共に地上に転落し、運転席と地面との間に挟まれた。	30109	10 ～ 29
2006	9	11 ～ 12	伐木、玉切りした松（全長2.2m、直径45cm、重量214kg）にワイヤロープで玉掛けし、ホイール式トラクターショベル（機体重量2.1t）のバケットでつり上げ運搬していたところ、ワイヤロープが切断し、約25°の斜面でトラクターショベルが横転し、運転していた被災者が投げ出されて下敷きとなった。	140301	10 ～ 29
2006	10	14 ～ 15	砂利プラントの原石ホッパーに通じる傾斜路法面下にトラクターショベルが仰向けに転落していることに同僚労働者が気づき、近づいて運転席を確認したところ、閉じ込められている被災者を発見した。	20202	10 ～ 29
2006	4	13 ～ 14	農地造成等工事において、単独で作業を行っていた被災者が、ブル・ドーザーを運転し、傾斜地で後進したところ、ブル・ドーザーごと転落し、運転席から放り出され傾斜地で転落したブル・ドーザーに潰された状態で発見された。当該ブル・ドーザーは転落後に、後進状態のまま現場に隣接する道路に逸走した。	30109	1～ 9
2007	11	7 ～	工所用資材の運搬用に使用する林道（延長557m）の除雪作業がホイール式トラクター・ショベルにて行われた後、当該林道から路外に転落している	30108	100 ～

		8	ショベルが発見され、被災者（オペレーター）を救出したが、死亡した。		299
2007	9	13 ～ 14	2日前の大雨による林道の崩落や路肩崩壊箇所の修正作業をトラクター・ショベルを用いて行っていた被災者が、林道山側の崩落土砂をトラクター・ショベルで谷側に押し出す際、トラクター・ショベルと共に路肩から転落した。トラクター・ショベルは約60m下の沢に転落し、被災者は転落途中にトラクター・ショベルから放り出された。	60201	1～ 9
2007	6	7 ～ 8	車両整備会社に整備依頼していたブル・ドーザー（4t）を引き取るため、トレーラー（8t）で乗り入れ荷台に積み込んだものの、積載位置が悪く荷台上にてブル・ドーザーを前後進させたところ、高さ約1.2mの荷台からブル・ドーザーとともに転落横転し、その際被災者がコンクリート地面とブル・ドーザーの運転席左側面付近との間にはさまれた。	30109	10 ～ 29
2007	1	11 ～ 12	フォークローダーを運転して廃材の整理をしていた被災者が、窪地で重機ごと約5m転落して、重機と岩の間にはさまれた。	30199	10 ～ 29
2007	10	15 ～ 16	町道の拡幅工事において、コンクリートブロック（幅41cm、奥行き27cm、高さ30cm、重量41.2kg）を路側に積む作業をするにあたり、車両系建設機械（機体重量2.8t、バケット容量0.11立方メートル）でコンクリートブロック7個をつり上げて運搬し、機体を旋回したところ、バランスを崩し、転倒した。	30199	1～ 9
2007	6	9 ～ 10	畑の造成現場において、ブル・ドーザーを用いて土砂の押土作業を行っていたところ、路肩付近から土砂を押し出した際に路肩から斜面（高さ約4.5m、法長9.7m）を1回転しながら転落した。	30109	1～ 9
2007	11	10 ～ 11	採石場でトラクター・ショベルを運転中、左カーブの下り坂（勾配10～18度）を曲がらず直進し、高さ13.2m、勾配55度の法面を転落、トラクター・ショベルの下敷きになった。	20201	1～ 9
		9	地すべり対策工事現場で、同僚1名と工事現場への仮設道路の碎石敷設作業を行っていた。被災者はドラグ・ショベルを運転して仮設道路の下り坂をバツ		10

2008	3 10	クして降りようとしたところ、仮設道路が鉄製ロードマット敷き、さらに、降雨により滑りやすい状態であったため、クローラが滑り仮設道路からドラグ・ショベルごと転落した。	30108	～ 29
2008	8 13 ～ 14	敷地内の牛舎から肉用牛が排泄した糞を運び出す作業を行うため、被災者がトラクター・ショベルを運転して、片側が下り斜面となっている舗装された幅2.5m、下り勾配約6～9度の私道を後進していたところ、路肩の高さ4.6mの箇所から右後輪が脱輪してトラクター・ショベルが転覆・横転して投げ出された被災者が、法面下にある事務所の壁と転覆したトラクター・ショベルの間にはさまれた。	70101	1～ 9
2008	4 13 ～ 14	河川敷内の資材置場において、勾配5度の通路上で被災者がトラクター・ショベルを操作して整地作業を行っていた。トラクター・ショベルが路肩の段差部分で脱輪したために機体のバランスが崩れて被災者ととともに転落した。被災者は横転したトラクター・ショベルの下敷きとなった。	30199	1～ 9
2008	8 12 ～ 13	ドラグ・ショベルを作業現場に移送する途中、橋上を自走していたところ、橋（幅2m（最大2m40cm））から約8m下の谷底へドラグ・ショベルと共に墜落した。	170209	1～ 9
2008	3 9 ～ 10	採砂場の緑化復旧工事において、ドラグ・ショベルを運転して法面成形の作業を行っていたところ、足元の路肩がくずれて重機ごと16m下方まで転落した。被災者は運転室内で身体を強く打ち死亡した。	10901	10 ～ 29
2008	9 16 ～ 17	酪農従事者が車両系建設機械を運転中に行方不明となり、上司がキャベツ畑で発見した。牧場内の道路路肩から、勾配35度の斜面を14mほど滑落していた。	70101	1～ 9
2009	4 14 ～ 15	自社車庫の組立て作業において、代表取締役がトラクター・ショベルを運転してバケットを地上から約4.2mの高さにセットした。これに被災者が梁を伝って乗り移り、屋根部材の垂木設置作業を行っていたところ、地上に墜落した。作業にあたり作業床の設置、安全帯の使用等の墜落防止措置は講じられていなかった。	40301	1～ 9
	13	事業場の作業場においてドラグ・ショベルの運転席の屋根の上に上り当該ド		10

2009	12	～ 14	ラグ・ショベルの清掃作業を行ったあと、当該場所からカウンターウエイト上へ降りようとしたところ足を滑らせ2.7m下の地面に墜落した。	30199	～ 29
2009	9	～ 8	湾の水温、酸素濃度等を測定するため、台船（15m×36m）上において、ドラグ・ショベル（機体重量15.3t）を用途外使用して、A重油が入ったタンク（1.5m×1.6m×1.5m、約2.5t）をつり上げて、旋回した際にドラグ・ショベルが転倒し、運転していた作業者と海に転落した。災害発生の約1時間後に運転者が海から引き上げられたが、死亡が確認された。	30109	～ 29
2010	6	～ 9 10	事業場が管理する道路（こう配約10度、幅約10mの舗装路）の中央付近に落下していたコンクリート塊をトラクター・ショベルを使用して撤去する作業中、下り方向へ後進させたところ、路肩から車両とともに約30m下の斜面へ転落した。誘導者はいなかった。	150102	～ 29
2010	8	～ 16 17	被災者は林道開設工事において、ドラグショベルを使用した掘削作業に従事していた。掘削する箇所へ向かい斜面を登っている途中に路肩が崩れ、重機ごと20m下の溪流へ転落した。運転手は運転席の中で全身を強く打ち死亡した。	30106	～ 30 49
2010	10	～ 8 9	被災者は、河川の護岸工事において、ドラグ・ショベルのバケットに乗り型枠組立作業中、同ショベルの運転手が着ていた合羽が旋回操作レバーに引っ掛かり、バケットが振れ、墜落した。墜落箇所の鉄筋が左胸を貫通し、出血により死亡したもの。	30107	～ 10 29
2010	10	～ 10 11	貸し出していた機体重量1.6tのドラグ・ショベルを返却の際、2tトラックから乗降台に降ろしたあと、乗降台のスロープを使って地上へドラグ・ショベルを移動中に乗降台からドラグ・ショベルごと横転したもの。	80409	1～ 9
2010	11	～ 15 16	被災者は同僚とともにゴミ処理施設で粗大ゴミの処理作業にあっていた。被災者がトラクターショベルを運転し、樹木などのゴミをバケットに積み込み、可燃ゴミ用のピットに落とす作業を行っていたところ、トラクターショベルがピット方向へ暴走し、高さ約30cmの車止めを乗り越え、ピット内に重機ごと転落した。その後、消防隊により救出されたが、搬送された病院で死亡が確認された。	150103	～ 10 29

2011	8	11 ~ 12	被災者は、砂利プラントにおいて、トラクターショベル（機体重量14.36t）を運転し、骨材原料の原石を原石山の下部から山の上部へと運搬する作業を1人で行っていたところ、同僚の作業員が原石山の山腹にある幅3m、傾斜角11度の斜路の側方下部3mのところに180度転倒し、運転席が潰れているトラクターショベルと共に運転席の中の被災者を発見したものの。なお斜路の一部は崩壊していた。	20202	1~ 9
2011	11	15 ~ 16	被災者は1人でトラクタ・ショベルにて、3次側プラントのコンベアの下にたまった落鉱を1次堆積場の山の上に降ろし、バックで山の上からスロープを下る際に、左後方の法面に左後輪が乗り上げ、車体がバランスを崩し、右側に転倒した。トラクタ・ショベルはスロープ下の地面に転落し、運転していた被災者は運転席から落ち、転倒したトラクタ・ショベルの左側面と地面との間に挟まれ、8日後に死亡した。	20201	10 ~ 29
2011	9	14 ~ 15	台風の影響により荒廃した治山工事用道路の復旧作業を、他の作業員と別れ一人でトラクター・ショベルを運転して行っていた被災者が行方不明となったため、同僚らが捜索したところ路肩から約35m下の崖の中腹に被災者が倒れていた。トラクターショベルは更に下方の沢に転落していた。現場の状況からトラクター・ショベルが路肩を乗り越え、勾配48度の崖を転落し、被災者が途中で運転室から投げ出されたものと推測される。	30106	30 ~ 49
2011	6	15 ~ 16	採石場内において、被災者は、トラクター・ショベルを使用し、道路脇に崩落した土砂の除去作業終了後、当該機械を土砂崩壊場所から採石場内の砂利置き場へ移動させる際に、当該機械とともに砂利置き場から崖下へ約20m転落し、死亡した。	20201	10 ~ 29
2012	12	8 ~ 9	高さ約1mの残土の上でブルドーザーを運転し残土の均し作業に従事していた被災者が、意識不明の状態に残土周辺の地面の上に倒れているのが発見され、搬送先の病院で死亡した。なお、発見時、被災者が運転していたブルドーザーは残土から約30mほど離れた場所に停止していた。	30199	50 ~ 99
		17	飼料畑にて、被災者はトラクターショベルで堆肥をならす作業をしていたと		1~

2012	10	18	ころ、当該敷地に隣接し約2m下にある畑に重機ごと転落し、重機に挟まれ骨盤等の複雑骨折により死亡した。	70101	9
2012	11	13 ~ 14	被災者単独で、ドラグ・ショベルを用い法面の掘削作業を行っていたところ、ドラグ・ショベルもろとも転落した。	30108	1~ 9
2012	7	21 ~ 22	ノロ処理場において、被災者は冷却後のノロを移動するためトラクター・ショベル（機体質量9,150kg）を運転し、駐機場から処理場に移動した。同僚がラガー車でノロを運んできた際、ノロ冷却に使用した水を貯めておくピットにトラクター・ショベルが転落しているのを発見し、被災者を捜索したが発見できないため警察に連絡。警察等が被災者を発見したが、既に死亡していた。	50101	30 ~ 49
2013	10	16 ~ 17	道路建設工事現場において、ブルドーザーを運転していた被災者は、ブルドーザーとともに路肩から約3.5m下の地面に転落し、ブルドーザーの下敷きとなった。	30106	10 ~ 29
2014	11	13 ~ 14	ゴルフ場にて、ブルドーザーで走行路の整地作業中、ブルドーザーとともに路肩から斜面を転落。反転したブルドーザーの下敷きになった。	140301	30 ~ 49
2014	11	16 ~ 17	雑木の伐採及び集積作業中、被災者が運転するトラクターショベルが、橋に設けていたガードレール及びガイドパイプを突き破り、下の川に転落、横転した。	20201	10 ~ 29
2014	10	13 ~ 14	法面の立木の伐採を行うため、林道上にて、ドラグショベルを後進させたところ、林道路肩より3.5m下の沢にドラグショベルごと滑落。外傷性多発により死亡した。	30106	10 ~ 29
2014	3	17 ~ 18	被災者は、港岸壁にて、客先の船が商品である土を積み込んだ際、こぼれ落ちた土をホイールローダーで集積する作業をしていた。その後、岸壁付近の海中から被災者が乗った状態のホイールローダーが発見された。	80109	1~ 9
		17	被災者は、砂採取場にて、ドラグショベルで掘削した土石をブルドーザーで		10

2014	3	～ 18	押していたところ、ブルドーザー直下の地盤が崩落し、崩落してできた穴に転落。転落した衝撃でブルドーザーの外に投げ出され、上半身が土砂に埋まり、窒息死した。	20202	～ 29
2014	3	8 ～ 9	トラクター・ショベルで除雪作業中、雪を用水路に捨てようとしたところ、トラクターショベルごと用水路に転落し、下敷きになった。	80204	1～ 9
2014	2	17 ～ 18	雪堆積場にて、被災者はブルドーザーを操作し、雪をステージ（排雪ダンプが搬入した雪を降ろす場所）付近から雪山の頂上まで押し上げて移動させていた。頂上付近まで押し上げたため後退（進行方向の斜度17度、法肩方向の斜度8度）していたところ、横滑りして雪山の法肩から斜面を1回転しながら21m滑落し、キャビンの中で頭部を強打した。	30199	1～ 9
2016	9	13 ～ 14	被災者は、タイヤショベルのオペレーターである。盛土した作業用通路（長さ約10m、幅員約5.5m、高さ約1m）を空荷で後進中、左後輪が路肩から逸脱して横転、約1m転落したタイヤショベルの運転席フレーム部分の下敷きになった。	30109	30 ～ 49
2016	6	9 ～ 10	タイヤショベルでコンクリート塊（ガラ）を移動させている時、敷地内に設けた池（水深約3メートル）にタイヤショベルとともに転落した。	10909	1～ 9
2017	12	10 ～ 11	被災者をホイール式トラクター・ショベルのバケットに乗せ、倉庫の外壁を張る作業を行っていた際に、同機械の運転者が同機械を後退、被災者がバランスを崩しバケットから墜落したところへ同機械を前進させたため、被災者の頭部をタイヤで轢いた。	170209	50 ～ 99
2018	10	16 ～ 17	道路維持修繕業務の一環として、台風の影響により道路上に飛散した枝葉等を（ホイール式）トラクターショベルを用いて除去していたところ、ガードレールが設置されていない路肩から崖下にトラクターショベルごと転落したものの。	30106	1～ 9
			災害発生事業場は土木工事を請け負う事業場。被災者は事業場敷地内でダンパーの荷台にドラグショベル（機体重量2.57t）を積み込もうとして		

2018	9	6 ～ 7	いた。ドラグショベルを自走して乗せるために 荷台へ前進 ブームを左旋回 その後急にブームを右旋回した。そのため、ドラグショベルがバランスを崩して横転し、被災者は地面とドラグショベルのヘッドガードとの間に上半身を挟まれて死亡したもの。	30106	1～ 9
2018	6	14 ～ 15	スキー場デリジャンス管理用重機道修繕工事において、被災者がブルドーザーを運転し、スキー場下山コースを下山しようとしたところ、コースを逸脱し、コース外へブルドーザーと共に約50メートル転落し、心肺停止の状態で発見されたもの。	30199	50 ～ 99
2018	2	10 ～ 11	被災者は朝からトラクターショベルを運転し、事業場の敷地の排雪を行っていたが、燃料が少なくなってきたことから、事業場に保管されているポリタンクから燃料を給油するため、タイヤのカバー部分（高さ1.56m）に上がり、地上の同僚と給油口の上のカバーを持ち上げた。他の運搬車が入ってきたため、誘導のため同僚が離れたところ、ドスンという音がし、振り返ったところ、被災者が床に倒れていた。	150102	10 ～ 29
2019	9	10 ～ 12	被災者は屋内の鶏糞保管施設においてトラクター・ショベルを運転中、鶏糞で成形した道の下り坂（傾斜角11度）で高さ1.7～1mの路肩からトラクター・ショベルとともに転落したもの。なおトラクター・ショベルのバケット内は空荷であった。被災者の傷病名は脳挫傷、傷病部位は左側頭部。被災者は一人で作業を行っており被災時の状況を現認したものはいなかった。またシートベルトは装着しておらず保護帽も着用していなかった。	10101	300 ～ 499
2019	5	8 ～ 10	豪雨災害により発生した路面の土砂および山腹を切り取りした後の土砂をダンプトラック1台、ドラグショベル1台により搬出する作業を事業者と被災者の2名で行っていた。事業者がダンプトラックで土砂を残土場に運搬し戻ってきた際、盛土した法肩から谷方向へドラグショベルと共に約25メートル転落していた被災者を発見したもの。	30106	1～ 9
2020	11	10 ～	ゴルフ場の芝かす置き場において、被災者はトラクターショベルを用いて芝かすの山を敷き均し作業を行っていたところ、当該機で坂道を後退中に後輪	140301	50 ～

		12	が路肩から脱輪して転落し、運転席から投げ出されて当該機の下敷きとなり死亡したもの。		99
2020	8	12 ～ 14	公園運動場の水害による汚染土壌を掘削する工事現場において、被災者は、トラクター・ショベルを運転して、小高く盛られた地山に掘削残土を運んでいたところ、地山の肩からトラクター・ショベルごと転落し、翌日、死亡したもの。	30199	1～ 9
2020	6	10 ～ 12	採石場の通路においてホイール式トラクターショベルを走行していたところ、路肩の盛土を乗り越え、機械とともに約31.6m下の防災池に墜落したもの。法面を滑落中に、被災者は運転席から投げ出されており、災害発生約2時間30分後に池中で発見され、死亡が確認された。	20201	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202207_01.html